

# 令和元年度「学校評価」地域アンケートの結果とその対応について

秋田県立雄物川高等学校

## 1 アンケート実施時期

令和元年12月

## 2 質問項目の設定理由

本校では、今年度の重点目標を「元気な郷土づくりを支える人材の育成～生徒に勇気と自信をもたせ、夢を叶える～」とし、生徒の豊かな心を育み、社会的自立を支援する学校を目指して特色ある取組みを行って参りました。特にインターンシップや生徒会の諸活動、福祉コースの介護施設実習、保育園実習等においては、地域の皆様の温かいお心遣いと御協力により、生徒は多くのことを学び成長しております。

また、PTAとの連携による「登校時一声運動」や定期的な校外巡視などを行い、あいさつの励行や校外における生活の指導にも力を入れております。しかし、職員による巡回指導にも限界があり、校外における生徒の状況については十分に把握できないのも実状であり、校外における生徒の状況について学校周辺にお住まいの皆様にお伺いいたしたく、昨年に引き続きアンケートを実施することにいたしました。

## 3 アンケート協力依頼先（依頼数）

スーパーセンタートラスト（5）	マックスバリュ雄物川店（3）
横手市商工会雄物川拠点センター（4）	雄物川町体育館（2）
里見郵便局（3）	なをこそばや（1）
羽後交通（4）	平鹿自動車学校（4）
横手モータースクール（4）	横手明峰中学校（10）
平鹿中学校（5）	十文字中学校（5）
東由利中学校（5）	雄物川小学校（5）

## 4 アンケート回収率

民間企業等	73.3% (22/30名)		
小中学校職員	83.3% (25/30名)	<b>全体</b>	<b>78.3% (47/60名)</b>

## 5 アンケート集計結果

次ページ掲載

## 6 アンケート結果の4カ年比較

A+B = 「立派、さわやか、指導が行き届いている」 + 「概ね良い、指導がますます浸透している」

C = 「以前と変わらない、生徒にばらつきがある」 D = 「あまり良くない」

問5のCは、「指導があまり浸透していない」という項目

単位 (%)

	問1 (生徒全般)		問2 (挨拶)		問3 (服装)		問4 (行動)		問5 (生徒指導)	
	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
H28	88	12	84	16	91	9	94	6	98	0
H29	93	7	89	9	96	4	93	7	100	0
H30	96	4	88	12	100	0	88	10	98	2
R1	91	9	82	18	91	9	95	5	96	4

## 7 自由記述欄にご記入いただいた内容

### (1) 企業等

- 真面目に勉強している生徒さんが多く、他のお客様も感心しています。
- あいさつが良く出来ていて非常に好感が持てます。これからも頑張ってください。
- 多くの生徒の方が真摯な姿勢で教習に取り組んでいて、教習や送迎時等の挨拶についても良く出ていると思います。
- 着崩している生徒さんを見かけることもなく、学生らしいキッチリとした服装であると感じました。
- は・は・は祭の際、吹奏楽部、バレー部、JRC同好会、家庭クラブの生徒さんに出演、参加協力をいただき、いつもありがたく思っております。今後とも町のイベントやボランティア活動など、協力いただければと思います。
- 部活の大会等でお会いする機会があり、移動時や集合時の行動を拝見する機会にとっても良い印象を受けました。
- 公共施設を使用する場には、先生方のあいさつは勿論であります。代表生徒のあいさつがあれば最良と思います。

### (2) 小学校・中学校

- 校外でのあいさつがよく、感心しています。ぜひ今後も大切にしてほしい雄高の伝統の一つです。
- 卒業生はもちろんです。吹奏楽では、合同練習や定演の際に吹奏楽部の皆さんに大変お世話になっております。生徒たちは、高校生を見習って頑張っています。ありがたく思います。
- 雄物川といえばバレーが有名ですが、他の部活動の生徒も負けないうらいがんばっている姿が見られる。これからもがんばらせてほしい。
- 街で見かける生徒は特に問題なく、ちゃんとしております。他校と比較しても指導が見てとれます
- 地域での活動を積極的に行っていることに好感がもてる。小学生にとって、よき先輩、あこがれの存在となるようにがんばってほしいと思う。
- スイカジャム作りの際に、一緒に活動させていただいた時は小学生の面倒をよくみてくれました。明るく親しみやすい生徒がとても多いと感じました。
- バレーも心配ではありますが、その他の部活動も、盛り上げを期待したい。
- 前もって決められたことはしっかりと行動することができていたが、自分から進んで行動することには個人差が大きかった。

## 8 アンケート結果に対する本校の対応

どの設問についても、例年よりやや数値が下がってはおりますが、ほぼ9割以上の方から「A」・「B」の評価をいただいております。本校の教育活動の全体の方向性としては、今後も継続していきたいと思えます。バレーボール部や吹奏楽部をはじめとする部活動や、家庭クラブ、JRC、生徒会の地域に係わる活動が、各方面から良い評価をいただいております。

一方で、行動の積極性に関してご指摘をいただいております。パスカルタイムでの活動でコミュニケーション能力の向上を図っており、進んで活動する姿勢につながるよう指導して参ります。また、服装については、自由記述では直接のコメントはありませんでしたが、「C」・「D」の数値が増えていることから、今後整容面での指導をより強化していくよう検討して参ります。あいさつについても「C」・「D」の増加が見られますので、すべての場面においてしっかりできるよう、根気強く指導して参ります。社会におけるコミュニケーションの第一歩としての挨拶の必要性、意義を伝えていきたいと思えます。また、部活動の活性化につきましては、生徒数減少による生徒会予算減もありますが、より充実した活動が継続できるよう、検討を重ねて参ります。

日頃から、部活動やボランティア活動等において、地域の方々から多大なご支援をいただいております。生徒達の人間の成長につながる経験を与えていただいております。今後とも、皆様から寄せられるお声にしっかりと耳を傾け、よりよい学校づくりを進めてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。